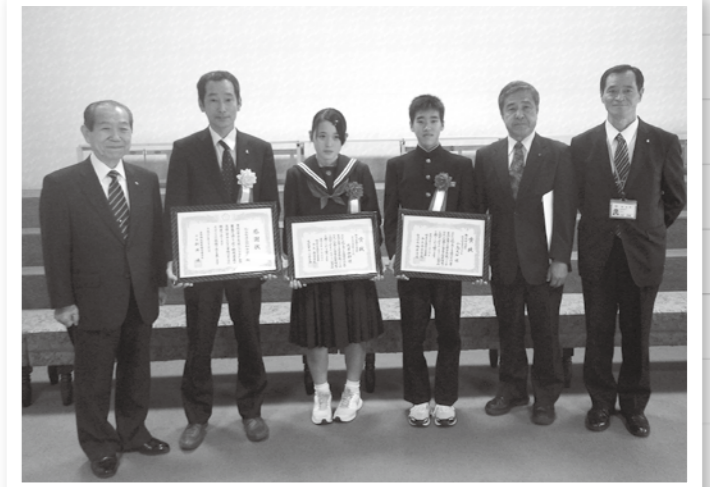


# 平成27年度 中学生の「税についての作文」優秀作品紹介

全国納税貯蓄組合連合会と国税局の共催で中学生の「税についての作文」募集事業が毎年行われています。この事業は、租税教育推進活動の一環として行われ、今年度の表彰式が11月14日(土)に玉名市で開催されました。

今回の表彰式では、荒尾玉名地域の中学校16校から1,918編の応募があり、和水町からは2人の生徒が受賞しました。

また、当日は「税についての作文」募集について特に協力が顕著な中学校として三加和中学校が全国納税貯蓄組合連合会から作文応募推進校感謝状が贈られました。

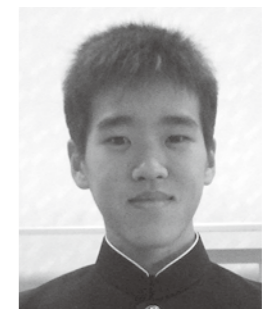


- 和水町長賞 ..... 小島 大知 (菊水中学校 3年)
- 和水町教育長賞 ..... 北原 和紗 (三加和中学校 3年)
- 全国納税貯蓄組合連合会作文応募推進校感謝状 ..... 三加和中学校



和水町長賞

『よりよい社会を築くために』



菊水中学校 3年  
小島 大知 (上久井原)

「何で消費税、八パーセントになったの。今までのままで良かったのに。」税金のお世話になっていくことが多いので、学校の教科書が無償提供されているのも税金があるからだよ。将来しっかり働いて長者番付に名前が載ったら文句言いなさい。」今年四月、消費税が五パーセントから八パーセントに引き上げられた。そんなときにした母との会話だった。

夏休み前、学校で租税教室が行われた。その中で、もし税金が無かったらどんな社会になってしまうのかというアニメを見た。税金のない世界では、道に穴が開いても舗装されない。「ミがぁあふれる。さらには警察や消防を呼ぶのも有料になる。学校に通えない子も続出してた。僕にはこの世界が衝撃的で、初めて税金は大切だと気がついた。それと同時に、僕は人からもらったお小遣いで物を買おうと、文句を言っていたことが恥ずかしく思えた。

テレビのニュースを見ると、よく「税金の無駄遣い」など悪いことが大々的に取り上げられる。しかし、税金は今、自分たちがあたりまえと思って生活している身近な環境までも役に立っている。また、震災の復興事業にも使われていると聞いたことがある。納税する側が払いたいと思っただけでなく、金銭的にも大きく取り上げた方がいいと思った。

母が先日、近所に住むおばあさんと話していた。そのおばあさんは車の免許を持っておらず、ちよっとした買い物や病院に行くのも大変だそう。年金も少ないらしく、便数の少ないバスやタクシーを乗り継いで行くのも体力だけでなく、金銭的にも大きな負担となっているらしい。母がスーパーやコンビニエンスストアの宅配サービスのことを薦めたそうだが、やはり自分の口に入れるものだから、自分の目で見て選んで買いたいと言われた。また、今年花見にも行けなかったと話されたそう。このように、大変な思いをして最低限度に近い生活をしているお年寄りの方も多いのではないだろうか。食べ物も少なく、苦しい戦争を経て、壊滅的だった日本をここまで発展させてくださった人々の大先輩方が、年をとり、大変な思いをされてよいのだろうか。こつこつとお年寄りの方が、少しでも楽に出かけられるようにするために税金を使っておほいと思った。

僕は今年まで義務教育のため、教科書や学費が無料だ。学年主任の先生から、義務教育が無料になるために多くの人の苦労があったことを以前教えて頂いた。だからこそ、きちんと学習し、将来は日本国民として「納税の義務」を果たしてよりよい世の中づくりをこころざしたい。



和水町教育長賞

『税について考えたこと』



三加和中学校 3年  
北原 和紗 (山十町)

八パーセント。これは今の日本の消費税です。この消費税率が二十七パーセントの国があります。それはハンガリーという国です。「二十七パーセント」この数字は日本人にとっては考えられない、すごく高い数字だと思えます。なぜこんなにも高い消費税を納めなければならないのか、国民に不満はないのか、私はインターネットを使って調べてみました。

ハンガリーの他にも、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、アイスランド、クロアチアと消費税率が二十五パーセント以上の国がいくつかありました。この国々は全てヨーロッパ州に属している国々です。これらの国の国民はこの高い消費税率にあまり不満はないそうです。それはなぜか、これらの国は、国民の税の負担が大きい分、国のサービスが充実しているからです。その具体例として、国民の医療費、そして子どもの教育費は大学まで無料です。また、出産の際にかかるお金も全て国が負担し

ていることなどがあります。でも、これだけではありません。スウェーデンの消費税のしくみを例にすると、必ず必要になる食料にかけられた税金は十二パーセントほどになっていたり、公共交通の消費税は食料よりもさらに低く、六パーセントにするなど、普通に使うものは低い消費税にする工夫をすることで、国民も納得して税金を納めているそうです。このような制度があることで、国民にとっても国にとってもいい税金のしくみができあがっています。

さて、ヨーロッパ諸国に比べると消費税率がとて低く日本では消費税は何にかかれていくのか。私が思いつくのは、年金と義務教育に使われるものくらいです。しかし調べてみると税収の約四分の一は国債の返還に使われているという現状ということがわかりました。そして今は、少子高齢化が進んでいる時代です。これは更に国債が増えいくと思います。この国債はもちろん、借りているものなので返さなければいけません。それは大人が「税金」として返すことになります。また少子高齢化が進んでいることから、今から十年後の二〇二五年には高齢者一人を、一・八人の現役世代が支えなければならなくなる予想されています。これらのことから、現役世代の税金の負担は、これから今以上に大きくなって大変になると思います。なので、その税金をちゃんと納められる大人になるために、今、私に、私たち中学生にかけられている税金が決してムダにならないように、自分にできることを頑張っていきたいです。

## 知っていましたか?

～税金の豆知識～

### ●「国税」と「地方税」

税金には、国に納める国税と県や市町村に納める地方税があります。地方税は、さらに県税と市町村税とに分けられます。

国税	県税	市町村税
・相続税 ・贈与税 ・所得税 など	・普通自動車税 ・不動産取得税 ・地方消費税 など	・市町民税 ・固定資産税 ・軽自動車税 など

ここで、和水町の税金(町税)に目を向けてみましょう!

### ●町税の種類

町税の大部分をしめるのは、「固定資産税」と「町民税」ですが、ほかにも軽自動車税や町たばこ税などがあります。

町民税	町内に住む個人や町内にある会社などが、それぞれの活動によって得た収入などに応じて納付します。
固定資産税	町内に土地や建物などを持っている人が納付します。
軽自動車税	町内に軽自動車やバイク、一部の農業機械などを持っている人が納付します。
町たばこ税	町内のお店などにたばこを売り渡した業者が納付します。
入湯税	町内の温泉に入ったときに、温泉の料金と一緒に納付します。

税金は、わたしたちが安全安心で健康的な暮らしをするために、重要な役割を担っています。道路や橋、ごみの収集、消防業務などが生活するうえで非常に重要な事業の財源であり、みんなのために必要な費用をみんなが分担する「社会の会費」です。